



International NGO in Special Consultative Status with the Economic and Social Council of the United Nations (ECOSOC)
3-13-1-B1 Takadanobaba, Shinjuku, Tokyo 169-0075, JAPAN
Tel: +81-3-3363-8047 | Fax: +81-3-3363-7562 | Email: pbglobal@peaceboat.gr.jp | <http://www.peaceboat.org>



軍事費に対する世界行動デー(GDAMS)とG7広島外相会合に向けた ピースボートの声明 2016.4.6 広島

昨日ストックホルム国際平和研究所(SIPRI)は世界の軍事支出に関する最新のデータを発表し、それによれば2015年の世界全体の軍事支出は約1兆7千億ドル(約185兆円)でした。

ピースボートは、第6回軍事費に対する世界行動デー(GDAMS)にあたり、このような軍事支出の増加に対して憂慮を表明します。とりわけ世界が、近年の歴史のなかで最悪の人道上の危機を経験しており、この軍事予算の一部を振り向けるだけでも人々の切迫したニーズに有意義に応えることができる状況においては、なおさらです。

私たちがとりわけ憂慮するのは、東北アジアにおいて3,020億ドル(約33兆円)が使われ、これが前年比5.7%の伸びであり、10年前と比べると75%の伸びであることです。日本は地域で2番目、世界で8番目の軍事費支出国であり、私たちは日本がこの地域で加速している軍事化に対して責任を共有していると考えます。とりわけ現政権が日本が長年維持してきた平和政策を転換させ、戦争を放棄した憲法を変えようとしていることも影響しています。このような政策は、中国や韓国をはじめ日本の近隣諸国の不安を煽っており、地域的軍備競争に油を注いでいます。

本日ピースボートは、アジア地域およびさらに広く世界からの参加者と共に広島に入港しました。私たちは、平和と友好のメッセージを伝え、公的なお金を軍事から社会的ニーズ、人道援助、開発、また教育、保健、環境などの公的サービス、そして平和と軍縮の取り組みのために振り向けることを訴えます。

ピースボートの現在の航海においては、参加者は船上で被爆者の証言を聞き、戦争の悲惨さと核兵器使用の破滅的な結果について学びました。核兵器は、その使用がもたらす苦しみの規模において非人道的であるばかりでなく、GDAMSにあたってはとくに、そのような兵器を開発し維持していく経済的コストがもたらす間接的な人道上の結果についても注意する必要があります。

G7外相会合が4月10～11日に広島で開催されるにあたり、私たちは参加する外相たちに対して軍事予算を削減すると共に、核兵器を禁止し廃絶する法的拘束力のある新しい条約を交渉するプロセスを即時に開始するよう要請します。

「軍事費に関する世界キャンペーン」は、国際平和ビューロー(IPB)によって進められており、平和や人間の発展を促進するためではなく軍事のために使われる予算が増大していることについての世界的な世論を喚起するとともに、人々、政治家そしてメディアの関心を軍事支出の現状と、それにとって代わるべき優先事項に向けようとしています。ピースボートは、GDAMSが2011年に開始されて以来、さまざまな取り組みを継続しています。